

志岐高便り

第171号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校
[TEL] 0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88
[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「 Into the Unknown 」

教頭 野村雄大



“未知の旅へ～～踏み出せと～～未知の旅へ・・・”。

年末から何度も耳にする映画の挿入歌です。確か紅白歌合戦でも歌われていました。

2年生は修学旅行で、スキーや東京班別研修などまさに未知の旅を終えたばかりです。ちょっとした経験でも、0と1とでは大違い。未知から既知への有意義な旅だったと思います。お疲れ様でした。

さて3年生。センター試験を終えて次なる二次試験へ向け懸命に努力している生徒や、すでに決まった進路先での準備や学習にいそんでいる生徒などがいます。それぞれの2月を迎えようとしています。すべての3年生が春から“Into the Unknown”、新たな一步を踏み出します。期待に胸を膨らませるワクワク感もあれば、不安にさいなまれるモヤモヤ感もあるでしょう。未知の旅に踏み出す時は、いつの世も、誰もが同じような感情を抱きます。雪の女王もそうですし、決して自分だけではありません。

先ほど「ちょっとした経験でも、0と1とでは大違い」と述べましたが、新たな卒業後の未知の旅においても、高校3年間の経験値が生きてくるものです。それは、高校生活をどう過ごしてきたか、ということでしょう。志岐高校を卒業すると、君たちのほとんどは親元を離れ、ふるさとを離れ、社会人として踏み出します。社会人になる一歩手前の高校3年間は、何かを得ようと自らの意思で努力する一方で、自分の気持ちだけでは通じないことがあることも知ったはず。それが故に仲間と協力し、壁を乗り越えようと工夫してきたのだと思います。その経験値があればこそ、未知の旅に飛び込んでも歯を食いしばり、一歩踏み出す勇気を奮い立たせ、前へと進むことができるのではないのでしょうか。

3年生はあと一カ月で卒業です。卒業、そして進路が決定するその日まで、たゆまぬ努力を続けることこそが、次の旅へのステップとなります。1・2年生は、進級まであと二カ月。目の前の高校生活をしっかりと歩み続けることが、経験値を増やすこととなります。たくさんの経験値を積んで、未知の旅へ踏み出しましょう。



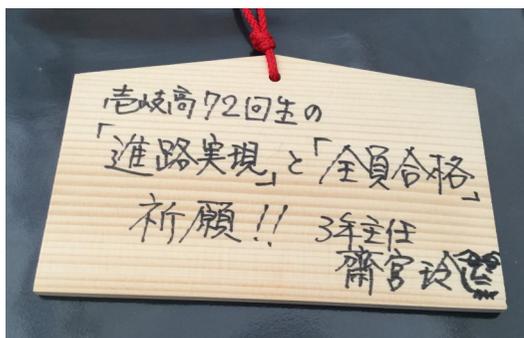
↑ 浅間山をバックに

第 3 学 年 より

1月18日、19日に本校で最後の大学入試センター試験(次年度からは大学入学共通テスト)が実施されました。今後は自己採点の結果と面談を経て受験校を決定し、出願を済ませたら各大学の個別試験に向けて全力で学習するのみです。よく『受験は団体戦』と言われるのが、生徒・保護者・教師が一体となって、最後まで諦めずに進路実現という目標を達成してほしいと願っています。

また、公務員・就職・短大・専門学校への進路決定者は2月より自宅学習期間に入ります。4月からは社会人としてスタートする生徒もいますので、この期間中に何か新しいことに挑戦したり、社会貢献活動に取り組んだりなど、次のステージに向けての準備をしてほしいと思います。

さて、壱岐高生として過ごす日々もあと1ヶ月。3月1日に72回生全員が笑顔で卒業できるよう、充実した日々を過ごしましょう。



第 2 学 年 より

73回生は3泊4日で修学旅行に行ってきました。

天候にも恵まれた軽井沢のスキー研修では、初めての体験にも関わらず、生徒は飛躍的にスキーの技術を向上させ、上級コースを滑る生徒もいました。インストラクターからは「壱岐高校の生徒は説明を素直に聞いて、それを実行するので、上達が早い」とお褒めの言葉もいただきました。3日目のディズニーランドは短時間でしたが、各班が自由に行動し、様々なアト

ラクションを体験したりお土産を購入したりするなど満喫したようです。4日目は各班に分かれて、大学生や社会人の方のから話を伺いました。学習の仕方を教えてもらったり、大学特有の学びである「ゼミ」を体験したり、働くことの意義を聞いたりして、生徒たちは今後の将来の糧となる多くのことを学びました。

この修学旅行で、異なる風土や自然、文化に楽しく触れることができ、かけがえのない経験を踏み、多くの思い出ができました。



第 1 学 年 より

1月14日(火)に「総合的な探究の時間」の成果発表会を行ないました。これまで「壱岐市が抱える問題」を考え、理想的な未来を想像し、その実現のための課題を設定し、対応策を考えてきました。この成果発表会では、壱岐市からも3名の方にご参加、ご助言いただき、大変貴重な機会となりました。今後も高校生らしい視点から当事者意識を持って探求活動を継続していきます。また、学習面についての企画「3/sun RISE Project」では、1月課題テストの結果を個人・チームで競い合いました。生徒たちの中で、自然と勉強面の話題が多くなるのと同時に、学力向上への一助となってくれることを期待しています。

さて、新たな年が始まり、すでに1ヶ月が過ぎようとしています。3学期を2年生0学期と位置づけ、生活面のレベルアップ、挨拶・容儀面の徹底など、「当たり前」の事を当たり前でできる」学年作りを目指していきます。



老岐高Topics!

2月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

センター試験出陣式・センター試験

1月16日(木)本校コモンホールにて、3年生のセンター試験出陣式が行われました。多くの先生方からの激励を受け、気合いが入ったようです。

1月18日(土)19日(日)、いよいよセンター試験本番。これまで積み重ねてきた努力の成果を思う存分に発揮する時が来ました。生徒は皆自信に満ちた表情で、会場へと入っていきました。

次は私立大学、国公立大学の個別試験に向けて頑張ってください。



1	土	★①②③
2	日	
3	月	自宅学習期間③一部 (～26水)
4	火	1～5時限の授業 推薦入試設営
5	水	1～2時限の授業
6	木	進路講演会①
7	金	
8	土	★③ ⅡⅢバブルテスト① 進研マーク② 公務員模試②
9	日	進研マーク②
10	月	考査時間割発表①② 総学成果発表会②
11	火	【建国記念の日】
12	水	登校日③
13	木	
14	金	
15	土	★③ 学校開放(半日)
16	日	
17	月	考査特別時間割
18	火	学年末考査①②
19	水	学年末考査①② 登校日③
20	木	学年末考査①②
21	金	特編Ⅱ期終了 学年末考査①②
22	土	
23	日	【天皇誕生日】 第3回英検二次
24	月	【振替休日】
25	火	国公立大前期試験 考査返却特別時間割①② (自宅学習③)
26	水	考査返却特別時間割①② (自宅学習③)
27	木	【代休2/29】 ★①②
28	金	卒業式設営 市長等表敬訪問(コース③) 特編Ⅲ期開始
29	土	卒業式予行 第3回コース交流会

各分掌から

進路支援部より

2020年が始まりました。今年も進路支援部および主催行事をよろしくお願いいたします。

1月18、19日に、大学入試センター試験が本校を会場に行われました。3年生は自己採点の結果と、これまでの対外試験の結果などをもとに、担任と面談を重ね、希望する国公立ならびに私立大学への出願準備をしているところです。「現役生は最後まで伸びる」とよく言われます。72回生の皆さん、「可能性は無限大」という学年スローガンのもと「希望進路の実現」に向けて、今まで以上の頑張りを期待しています。1・2年生は先輩の本気の姿をぜひ見ていてください。沢山得られるものがあるはずですよ。

周りの友人が進路を決定していく中で、最後まで頑張りぬくことは、お子様にとっても大変なことです。職員一同、全員の進路決定まで精一杯指導に取り組みます。最後まであきらめず強い気持ちで受験に臨むよう、ご家庭での激励とご支援をお願いいたします。

生徒支援部より

昨年12月22日(日)、壱岐の島ホールにて、第4回文化部合同発表会(第29回吹奏楽部定期演奏会)が開催されました。ステージで

は、吹奏楽部による演奏、放送部による朗読・映像作品上映、書道部による書道パフォーマンスが披露されました。ロビーでは、茶道部によるお茶会、調理部による食物バザー(手作り焼菓子の販売)、科学部によるポスター展示、書道部・美術部・写真部による作品展示が行われました。

あいにくの雨中の開催でしたが、たくさんの方々にご来場いただき、また、発表に対するご好評を得ることで生徒たちも励みになりました。今後も努力や工夫を重ね、次回の発表へ向けていっそう熱心に活動してまいりますので、体育部と共に、文化部へのご支援をよろしくお願いいたします。



↑ の様子
← 文化部合同発表会

～ 李先生コラム 『中国の年中行事』 ～

いよいよ中国では春節を迎えます。先週、イオンの一階で「迎春」の飾り文字を見ました。中国のスーパーやショッピングモールにも春節の時に「迎春」の飾り文字がよく見られます。中国と日本は一衣帯水の隣国として、飲食や文字、伝統行事などの文化において、似ていることが多いです。今回は中国の年中行事について少しお話しします。

中国の伝統的な行事は六つあります。春節(旧暦1月1日)、元宵節(旧暦1月15日)、清明節(旧暦4月5日頃)、端午節(旧暦5月5日)、中秋節(旧暦8月15日)、重陽節(旧暦9月9日)です。

春節は日本のお正月と同様、中国最大の行事です。日本ではおせち料理を食べる習慣がありますが、中国では「年夜飯」というご馳走を食べる習慣があります。「年夜飯」のメニューは、余暇やお金が余ることを意味する余と同音の「魚」の料理など、縁起のよい名前の料理が好まれます。



他の年中行事の紹介はまた次回にお話しします。お楽しみに。